

開示項目一覧



このディスクロージャー誌は、信用金庫法第89条で準用する銀行法第21条に基づいて作成していますが、その基準に定める各項目は次のとおり掲載しています。

1. 金庫の概況及び組織に関する事項		4. 金庫の事業の運営に関する事項	
(1) 事業の組織	3	(1) リスク管理の体制	9
(2) 理事及び監事の氏名及び役職名	3	(2) 法令等遵守の体制	11
(3) 事務所の名称及び所在地	4～5	(3) 金融ADR制度への対応	12
2. 金庫の主要な事業の内容	3	(4) 中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組みの状況	22～25
3. 金庫の主要な事業に関する事項		5. 金庫の直近の2事業年度における財産の状況	
(1) 直近の事業年度における事業の概況	36	(1) 貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分計算書又は損失金処理計算書	41～45
(2) 直近の5事業年度における主要な事業の状況を示す指標	36	(2) 金庫の有する債権のうち次に掲げるものの額及び①から④までに掲げるものの合計額	47
① 経常収益		① 破産更生債権及びこれらに準ずる債権	
② 経常利益又は経常損失		② 危険債権	
③ 当期純利益又は当期純損失		③ 3ヶ月以上延滞債権(貸出金のみ)	
④ 出資総額及び出資総口数		④ 貸出条件緩和債権(貸出金のみ)	
⑤ 純資産額		⑤ 正常債権	
⑥ 総資産額		(3) 自己資本の充実の状況	50
⑦ 預金積金残高		(4) 次に掲げるものに関する取得価額又は契約価額、時価及び評価損益	
⑧ 貸出金残高		① 有価証券	48
⑨ 有価証券残高		② 金銭の信託	48
⑩ 単体自己資本比率		③ 信用金庫法施行規則第15条の2の2第1項第5号に掲げる取引	48
⑪ 出資に対する配当金		(5) 貸倒引当金の期末残高及び期中の増減額	51
⑫ 役員員数		(6) 貸出金償却の額	57
(3) 直近の2事業年度における事業の状況を示す指標		(7) 金庫が法第38条の2第3項の規定に基づく会計監査人の監査を受けている場合にはその旨	46
① 主要な業務の状況を示す指標		6. 報酬等に関する事項であって、金庫の業務の運営又は財産の状況に重要な影響を与えるものとして金融庁長官が別に定めるもの	46
イ. 業務粗利益及び業務粗利益率	37	7. 自己資本比率規制第3の柱に係る開示事項	
ロ. 資金運用収支、役務取引等		(1) 定性的開示事項	49～54
収支及びその他業務収支	37	(2) 自己資本の構成に関する事項	49
ハ. 資金運用勘定並びに資金調達勘定の平均残高、利息、利回り並びに資金利ざや	37	(3) 自己資本の充実度に関する事項	50
ニ. 受取利息及び支払利息の増減	37	(4) 信用リスクに関する事項	
ホ. 総資産経常利益率	38	(リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャー及び証券化エクスポージャーを除く)	
ヘ. 総資産当期純利益率	38	イ. 信用リスクに関するエクスポージャー及び主な種類別の期末残高	50
② 預金に関する指標		ロ. 一般貸倒引当金、個別貸倒引当金の期末残高及び期中の増減額	51
イ. 流動性預金、定期性預金、譲渡性預金		ハ. 業種別の個別貸倒引当金残高及び貸出金償却の残高	51
その他の預金の平均残高	38	ニ. リスク・ウェイトの区分ごとのエクスポージャーの額等	51
ロ. 固定自由金利定期預金、変動自由金利		(5) 信用リスク削減手法に関する事項	52
定期預金及びその他の区分ごとの定期預金の残高	38	(6) 派生商品取引の取引相手のリスクに関する事項	52
③ 貸出金等に関する指標		(7) 証券化エクスポージャーに関する事項	52
イ. 手形貸付、証書貸付、当座貸越及び割引手形の平均残高	39	(8) 出資等エクスポージャーに関する事項	53
ロ. 固定金利及び変動金利の区分ごとの貸出金の残高	38	(9) リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャーに関する事項	53
ハ. 担保の種類別の貸出金残高及び債務保証見返額	39	(10) 金利リスクに関する事項	54
ニ. 使途別の貸出金残高	38		
ホ. 業種別の貸出金残高及び貸出金の総額に占める割合	38		
ヘ. 預貸率の期末値及び期中平均値	39		
④ 有価証券に関する指標			
イ. 商品有価証券の種類別の平均残高	40		
ロ. 有価証券の種類別の平均残高	40		
ハ. 預証率の期末値及び期中平均値	39		

